

運営ニュース

令和8年冬号

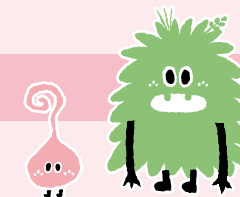
容器包装プラスチックの出し方を
知っていますか？

現代の私たちの暮らしは豊かで便利になりましたがその反面、ごみは増え続け、それらがもたらす環境への影響は大きな問題となっています。特に容器包装プラスチックは、家庭から出る燃やせるごみに多く含まれています。これら「容器包装プラスチック」をごみとして燃やさず、きちんと分別し「資源」としてリサイクルしていくことで、ごみの減量と環境保護につながります。

リサイクルの森では、「容器包装リサイクル法」に基づいてリサイクルしています。リサイクルに必要なルールを覚えて、自分たちの環境を守っていきましょう。



可燃ごみ焼却施設運転情報



焼却量と発電量

	1号炉(t)	2号炉(t)	合計	発電電力量(MWh)
令和7年10月	1497.77	1453.23	2951.00	1408.58
令和7年11月	1952.63	2052.33	4004.96	1827.60
令和7年12月	2035.24	2082.86	4118.10	2036.71

ばい煙濃度

採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定濃度			
			ばいじん濃度(g/m³N)	窒素酸化物濃度(ppm)	塩化水素濃度(ppm)	硫黄酸化物濃度(ppm)
組合管理値			0.01	50	30	20
1号炉排ガス	令和7年12月5日	令和7年12月24日	<0.001	36	10	2
2号炉排ガス	令和7年12月5日	令和7年12月24日	<0.001	37	11	4

イベントなどのお知らせ

体験プログラム

「作って遊ぼうぱっくんパニック」開催のお知らせ

開催日時 2026年3月28日(土)
午前の部 10時00分から
午後の部 13時00分から
(約90分間のプログラムです。)

会場 桑名広域清掃事業組合 リサイクルの森
(桑名市多度町力尾字沢地4028)
管理棟2階 ホール

実施内容 牛乳パックを使いサメの口からおはじきを取るおもちゃを作ります。
口を閉じずに取れるかな？

参加対象 桑名市・木曾岬町・東員町在住者。
体験プログラムは、先着順の事前予約制となります。
対象年齢小学3年生以上。小学生以下は保護者同伴。
対象年齢以下の場合は子ども1人につき保護者1人の
付き添いをお願いいたします。

応募期間 3月2日(月)から 弊社ホームページからのネット予約
※定員に達しだい締め切ります。

お問合せ先 リサイクルの森 くわなEサービス
(TEL 0594-87-5133/FAX 0594-87-5152)

ホームページは
こちらから



容器包装プラスチックを出したその先が どうなっているのか見てみよう

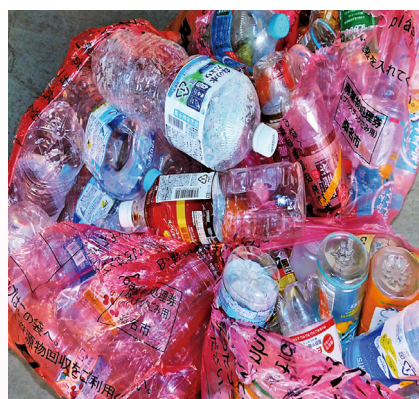
家庭で分別して出していただいた「容器包装プラスチック」は、リサイクルの森に集められ、プラスチック圧縮梱包施設で圧縮梱包し、ブロック状に成形され再資源化するため、リサイクル工場へ運ばれています。



中でも、不適物を取り除く手選別作業は、人の手が欠かせないものになっており、集中力と体力が必要な大変かつ、とても重要な仕事です。現在は、17人でこの手選別作業を行っています。

多くの皆さまには分別してはいただいておりますが、残念ながら間違えて入ってくる物もあります。昨年度は約16%の不適物が混ざっていました。特に金属がついているプラスチックは、手選別の際に危険を伴います。正しい分別をお願いします。また二重袋になっていると中身を出すのが大変です。(指定袋に直接入れてください)

こんなものが入っていたことがあります!!



ペットボトル本体は資源ごみです。ラベルとペットボトルキャップは容器包装プラスチックとして出していただけます。



中身が残っているものや、汚れのとれない容器包装プラスチックは可燃ごみになります。

今いちど出し方・ルールについて確認してみよう!!

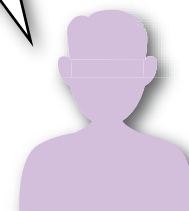
プラスチックの不用品は、すべて容器包装プラスチック指定袋に入れて出してはいませんか?

容器包装プラスチック 出せるもの 主な品目

ボトル類、トレイ類、カップ、パック類、ポリ袋類、ふた類、網ネット類など



現場作業員さんの声




Q: どんなものが間違えて入ってきますか? よく間違えられているものを教えてください。

- 1位: ペットボトル本体 (中身が入っていることもある)
- 2位: オムツ (赤ちゃん用・成人用ともに)
- 3位: 生ごみ (食べ残しなど)
- 4位: プラスチック製品 (おもちゃなど)
コード類
金属類 (フライパンなど)
- 5位: 刃物類 (カミソリ、はさみなど)

Q: 困っていること・ごみを出す際にお願いしたいこと・危険だと感じたこと・現場で思うこと

- ・容器包装プラスチックをリサイクルして再生していることをもっと知って欲しい
- ・ペットボトル本体など資源ごみとの区別が徹底されていない
- ・生ごみと容器包装プラスチックの判別を最低限守って欲しい
- ・可燃、不燃、危険なもの、生ごみが同じ袋に入れられていて分別の意識が低い
- ・包丁やかみそりが出てくるので怪我をしやすい

出す前の注意点まとめ

- ① プラマーク表示のあるものを分別する。
プラマーク表示のあるプラスチック製の容器や包装でなければ出せません。
- ② 中身は使い切り、汚れているものは洗うか、ふき取ってだす。
資源として再生するため、中身を空にして汚れをふき取るか水洗いをお願いします。油や臭いのおちないものは可燃ごみにお出しく下さい。
- ③ 指定袋に入れて出す。その際、二重袋にせず直接指定袋に入れる。

知らず知らずのうちに間違った捨て方をしていないか、ごみの適切な分別をお願いします。ごみは出したら終わりではありません。その先で作業している人のことや、ごみが資源として生まれ変わることには思いを馳せてルールやマナーを守って、さらに住みやすい街にしていきましょう。

